

<県政におけるEBPM（合理的根拠に基づく政策立案）の推進について>

福岡県では、政策の有効性をより高め、県民の皆様に信頼される県政を展開するために、EBPM（合理的根拠に基づく政策立案：Evidence-based Policy Making）の取組みを進めております。

EBPMとは、政策立案を思いつきや勘、経験に頼るのではなく、政策目的を明確化したうえで、合理的根拠（エビデンス）に基づくものとするものです。

つきましては、EBPMに関する皆様のご意見をお聴かせいただき、今後の参考とさせていただきますたく、以下のアンケートの間にお答えください。

（企画・地域振興部調査統計課）

設問 1

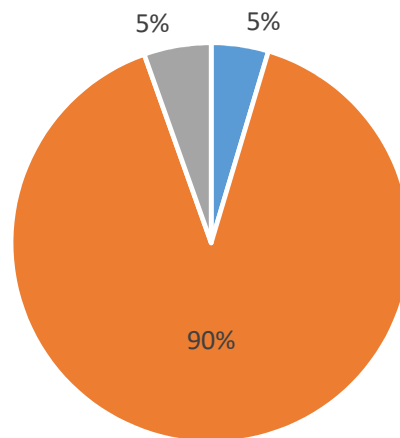
あなたは、EBPM という言葉についてご存知でしたか。

- ①知っていた。
- ②知らなかった。
- ③聞いたことはあった。

【アンケート結果】

- ・「②知らなかった。」または「③聞いたことはあった。」と回答した人の割合が95%であった。
- ・性別（男性・女性）、年代別（18～19歳、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上）、地区別（福岡、北九州、筑後、筑豊）、においても、90%以上の人が、「②知らなかった。」または「③聞いたことはあった。」と回答している。

【7】問1 あなたは、EBPMという言葉についてご存知でしたか。



■ 1 知っていた ■ 2 知らなかった ■ 3 聞いたことはあった

設問 2

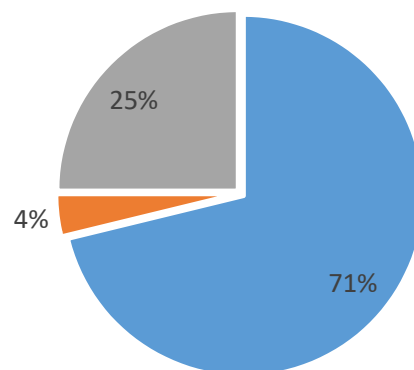
「県政において EBPM を推進すべき」という考え方について、あなたの考えに近いものはどれですか。

- ① そう思う。
- ② そう思わない。
- ③ どちらともいえない。

【アンケート結果】

- ・「①そう思う。」と回答した人の割合が71%であった。
- ・性別（男性・女性）、年代別（18～19歳、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上）においても、70%前後に人が「そう思う。」と回答している。
- ・地区別（福岡、北九州、筑後、筑豊）、においては、福岡地区が74%と、他の地区（北九州69%、筑後68%、筑豊67%）より「①そう思う。」と回答している。

【8】問2 「県政においてEBPMを推進すべき」という考え方について、あなたの考えに近いものはどれですか。



■ 1 そう思う ■ 2 そう思わない ■ 3 どちらともいえない

設問 2 - 2

設問 2 の回答について、その理由を教えてください。

【アンケート結果】

「①そう思う。」を選んだ人の主な意見

- ・政策立案に際し、経験も必要だが合理的根拠がなければ広く県民に納得してもらえるものは策定できないと思われるため。
- ・県民が納めた税金を思いつきの政策に使われては納得できないから。県政は信頼を得るためにも根拠に基づいてないと困る。
- ・根拠によらない政策立案だと、偏った考えのもとに政策が進められてしまうと感ずるため。

「②そう思わない。」を選んだ人の主な意見

- ・全てを合理的根拠で政策を進めるのは無理があると思う
- ・それだけに頼るのではなく、経験や勘、思いつきも大事にしつつ...ということなら、賛成です
- ・物事は合理的な考え方で進めれば味気ない考え方で面白くない、経験は大切な要素だと思う。

「③どちらともいえない。」を選んだ人の主な意見

- ・合理的根拠ってことですべて決めていいものか疑問です。
- ・思いつきや勘で行政が動くのは怖いですが、職員の方々の経験は重要だと感じる。
- ・合理的な説明ができるものは公平性を担保できるが、自然災害対策等説明できない事象もあるため。
- ・エビデンスの無い政策が立案ができないように考えられる。思いつきではなくとも、根拠を示すことができない政策もあるのではないのでしょうか。
- ・全ての政策立案がエビデンスに基づくものでないといけないということはない。スピード感が必要なものについては合意形成できれば進めて問題ないものもあると思うから。

設問3

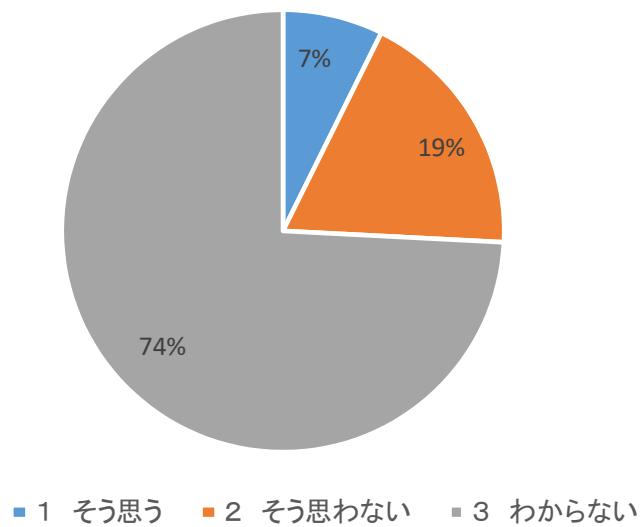
現在の県政において、EBPMが実践できていると思いますか。

- ①そう思う。
- ②そう思わない。
- ③わからない。

【アンケート結果】

- ・「①そう思う。」と回答した人の割合は7%であった。
- ・性別（男性・女性）、年代別（18～19歳、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上）においても、7%前後の人が「そう思う。」と回答している。
- ・地区別では、福岡地区が5%、北九州地区が6%と県平均より低く、筑豊地区が15%、筑後地区が12%と県平均より高く「①そう思う。」と回答している。

【10】問3 現在の県政において、EBPMが実践できていると思いますか。



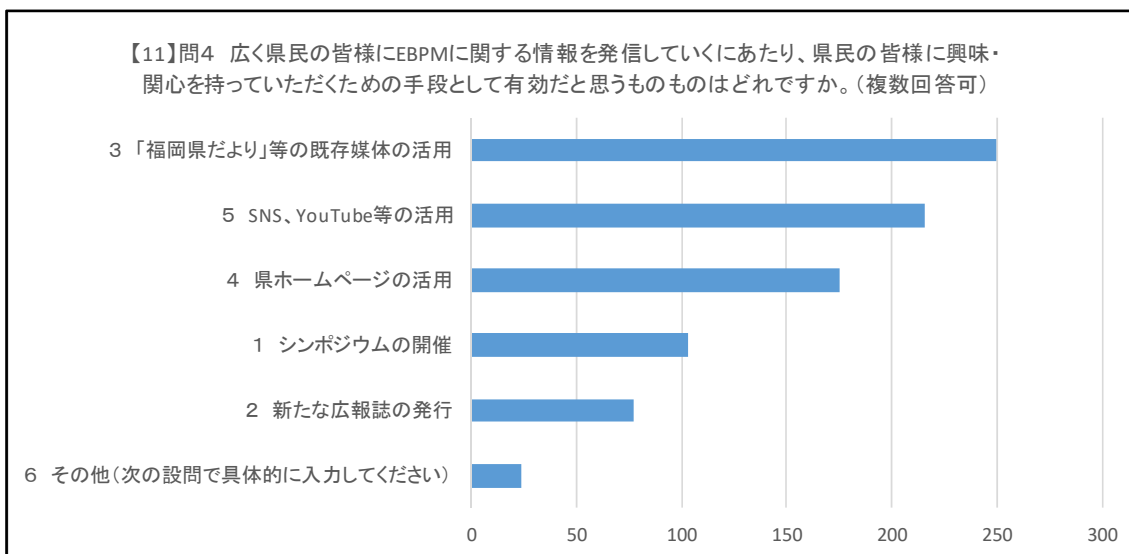
設問 4

広く県民の皆様に EBPM に関する情報を発信していくにあたり、県民の皆様に興味・関心を持っていただくための手段として有効だと思うものはどれですか。(複数回答可)

- ①シンポジウムの開催
- ②新たな広報誌の発行
- ③「福岡県だより」等の既存媒体の活用
- ④県ホームページの活用
- ⑤SNS、YouTube 等の活用
- ⑥その他 (自由記述)

【アンケート結果】

- ・「福岡県だより」等の既存媒体の活用 (250)
- ・ SNS、YouTube 等の活用 (216)
- ・ 県ホームページの活用 (175)
- ・ シンポジウムの開催 (103)
- ・ 新たな広報誌の発行 (77)
- ・ その他 (自由記述) (24)



※「その他 (自由記述) の主なもの」は以下のとおり

- ・ 公共機関への掲示
- ・ 看板や電子掲示板等
- ・ 老若男女が楽しめるイベントの開催
- ・ TV での発信
- ・ ラジオ

設問5

県政における EBPM（合理的根拠に基づく政策立案）の推進について、これまでの設問以外に意見がありますか。

【アンケート結果】

（主な意見）

- ・まず私もですが、この言葉自体を認知してもらおう事から始めないといけないと思う。
- ・エビデンスベースがどの程度信頼性があるかも検討が必要。
- ・スピード感が必要なものは速やかに進める。また、合理的根拠が必要なものに関しては、様々場面で時間をかけて納得するまでじっくり議論する等、テーマによってメリハリをつけて取り組んでいけばいいのではと思います。
- ・具体的にどのような実施例があるのか、市民にはみえづらいので、福岡県だよりに載せたいと思う。
- ・SNS等でわかりやすく発信して頂ければ若者でも情報に触れる機会があると思う。
- ・根拠を示す際、統計学に基づき、有意な差が得られているのか否かを公表していただきたいです。
- ・EBPM については具体的にどのような事をしているのか非常に興味があります。情報をまず知ってもらうためにも、短い動画等で説明して興味をもってもらおう事が大事かと思います。